

「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動」北海道知事メッセージ

北海道の将来を担う青少年が、豊かな人間性を培い、心身ともに健やかに、夢と希望をもって成長していくことは私たち道民の願いです。

スマートフォンやSNSの急速な普及など、青少年を取り巻く環境が一層多様化する中、SNSを通じて知り合った面識のない被疑者から性犯罪等の被害を受けた児童数が高い水準で推移しています。SNS等を利用する時間の増加に伴いトラブルに巻き込まれる機会が増えることも懸念されるなど、インターネット利用における子どもの性犯罪被害等を防止することは喫緊の課題です。

また、道内の女子高校生の命が奪われる痛ましい事件では、SNSでのトラブルが原因とも報道されていることや、アルバイト感覚で犯罪に加担してしまう、いわゆる「闇バイト」が横行しているほか、大麻等の薬物事犯で検挙される若年層が急増しているなど、青少年の置かれている状況は、被害と非行の両面において深刻なものとなっています。

本道の未来を担う青少年の育成は、社会全体で取り組むべき課題であり、家庭、学校、地域社会をはじめ、私たち道民が一丸となって、青少年の非行と被害の防止に取り組んでいくことが重要です。

このため、道では、7月を「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」とし、市町村や関係機関・団体等の皆様と力を結集して、最重点課題と7つの重点課題を掲げて青少年の健全育成に向けた気運の醸成や非行と被害の防止に取り組んでまいりますので、特段のご理解とご協力をお願いいたします。

○ 最重点課題

インターネット利用における子どもの性犯罪被害等の防止

○ 重点課題

- (1) 有害環境への適切な対応
- (2) 薬物乱用対策の推進
- (3) 不良行為及び初発型非行（犯罪）等の防止
- (4) 再非行（犯罪）の防止
- (5) 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動への対応
- (6) 社会を明るくする運動の推進
- (7) 「道民家庭の日」の普及

令和6年（2024年）7月

北海道知事 鈴木 直道